

令和 07 年度		伊勢堀川排水路護岸補修工事		実施 設計書		調査	
						設計	
工事番号				施工地			
				胎内市 竹島 地内			
設計額		実施・元		変更			
		円		円			
契約額		円		円			
(内消費税額)		(円)		(円)			
工事・履行日数		工事日数 95 日間		日間(付与日数 日間)			
		又は 完成期限 年 月 日		完成期限 年 月 日			
実施 (元) 設計概要	施工延長 L=16.0m 排水路工(ストパネ工法) L=16.0m			変更 設計概要			

参考資料におけるデータコード一覧表

本参考資料の工事費内訳表及び施工内訳表などに記載のあるデータコードは下記のとおりとなっています。
 ※データコード中の” x ” は任意の半角英数字、” n ” は任意の半角数値です。

1 単価コード

・「その他」以外の単価コードは新潟県土木工事等基礎（公表）単価表に掲載されています。

労務単価	Rxxxxxxxxx	RR9xxxxxxxx ※3				
資材単価	Txxxxxxxxx	Kxxxxxxxxx	TZ09xxxxxxxx ※3	TZP9xxxxxxxx ※3		
仮設材の賃料・損料	KNxxxxxxxxx	KNCxxxxxxxxx	TLCxxxxxxxxx	TNKxxxxxxxxx	Kxxxxxxxxx	TNKGxxxxxxxx
機械の賃料・損料	Mxxxxxxxxx ※2	MMJxxxxxxxxx ※2	TNRxxxxxxxxx	TLCxxxxxxxxx	MNTxxxxxxxxx ※3	MNTNxxxxxxxxx ※3
	MNSxxxxxxxxx ※2	MTSxxxxxxxxx ※3	TL09xxxxxxxxx ※3	TLNxxxxxxxxx		
市場単価	TAxxxxxxxxx	TBxxxxxxxxx	TCxxxxxxxxx	TDxxxxxxxxx	TGxxxxxxxxx	TQJxxxxxxxxx
	TQ09xxxxxxxxx ※3					
その他	Fxxxxxxxxx	KTxxxxxxxxx	Wxxxxxxxxx ※1			

「その他」のコードでは新潟県土木工事等基礎（公表）単価表から単価を引用している場合もあります。

※1は同一コードでも異なる単価が入力されている場合があります。詳細は入札資料を参照してください。

※2の機械損料は新潟県農地部が作成する機械損料一覧表の値を計上しています。機械損料一覧表に掲載のないものについては、新潟県土木部積算基準〔5 建設機械損料表〕に掲載の諸数値を用いて、機械損料一覧表の「機械損料算定の留意事項」によって算出した値を計上しています。

※3は東京地区単価

2 施工歩掛コード

(1) 下表のコードは施工単価条件表（公表版）に掲載されています。

施工単価条件表（一般土木）	Sxxxxxxxxx	SAxxxxxxxxx ※4
施工単価条件表（施設機械）	Sxxxxxxxxx	
施工単価条件表（業務委託）	Sxxxxxxxxx	

※4は施工パッケージ型積算方式

(2) 下表のコードは個別の案件毎に設定しています。

全ての歩掛を独自設定	Vxxxxxxxxx
------------	------------

3 その他コード

#00nn	工種金額の調整や諸経費計算の対象金額の調整に利用するコードです。
#000n	工事内訳において、所定の率で雑材料の経費を計上するコードです。
#0n	特殊施工単価内訳において、所定の率で雑材料の経費を計上するコードです。
+00	特殊施工単価内訳において、歩掛全体を割り増す場合に利用するコードです。
Xx000	工事の場合は費目コード、委託の場合は調査、解析、測量、設計などの業務コードです。
Yxxxxxxxxx	農林水産省「工事工種の体系化」による体系ツリーに従って作成された工事工種のコードです。
Zxxxxx	共通仮設費、現場管理費、一般管理費の諸経費のコードです。
管理費区分	工種金額の調整や諸経費計算の対象金額の調整に利用するコードです。 「0 省略」は設定無し、「12 スクラップ控除」は工種から減額し、共通仮設費、現場管理費及び一般管理費の率対象外とする調整、「14 工種調整」は工種から減額する調整、「N 直接人件費」は委託業務における直接人件費を集計する調整となり、他は設定された管理費区分に記載のとおりとなります。

4 施工パッケージコードについて

(1) 単価入力データ一覧表について

施工パッケージコード※₄ において積算地区の代表機労材規格を減額処理した単価コードは、以下の情報が記載されます。

対象となる施工単価コード名・名称・第番号、減額処理した単価コード名・名称・単位

また、金額欄に「※減額処理※」と記載されます。

(2) 施工内訳表について

下記の場合の単価コードを含む施工パッケージコード※₄ は「修正」となります。

施工パッケージコード※₄ において、積算地区の代表機労材規格を減額処理した単価コード

施工パッケージコード※₄ において、積算地区の代表機労材規格を積算者が作成した単価コード等で置換えした単価コード

施工パッケージコード※₄ において、積算地区の単価値が設定されておらず、積算者が入力した単価コード

修正した箇所には、施工内訳表における積算地区の代表機労材規格の項目（例：Z1t'）に「修正」と記載されます。

ただし、施工条件の入力により単価値、名称、規格が変更された代表機労材規格は対象外です。

(3) 東京単価の単価適用日について

「新潟県土木工事等基礎（公表）単価表」における 2. 掲載内容 を参照してください。

(4) 標準単価について

新潟県農地部作成「積算の手引」第1章 総則 1-1 積算関係図書 を参照してください。

(5) 単価表について

以下については、添付される「単価表」に情報が記載されています。

施工パッケージコード※₄ において、代表機労材規格を積算者が作成した単価コード等で置換えした単価コード

施工パッケージコード※₄ において、単価値が設定されておらず、積算者が入力した単価コード

工事数量総括表

仮設工における規格・数量は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
土木工事					
水路工直接工事費(仮設工を除く)		式			
開渠工		式			
水路工		式			
ストパネ工法		式			
ストパネ工法		m		16	
直接工事費(仮設工)		式			
仮設工		式			
仮設土留・仮締切工		式			
仮設矢板		式			
アルミ矢板建込・引抜工		m		31.4	
排水処理工		式			
排水ポンプ(仮設)		式			
排水ポンプ設置・撤去		箇所		1	
排水ポンプ設置・撤去		箇所		1	
排水ポンプ運転		箇所		1	
排水ポンプ運転		箇所		1	
直接工事費					

工事数量総括表

仮設工における規格・数量は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
共通仮設費 (率分)					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費 (率分)					
現場管理費計					
間接工事費					
工事原価					
一般管理費等					
契約保証費					
一般管理費等					
工事価格					
消費税相当額					
本工事費					
工事価格計					
消費税相当額計					
工事費計					

積算総括情報表

設計書名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	実施設計書 実施単価 11 新発田① 0-07.07.20(0) 1 一般土木	
	当 世 代 05 排水路工事 01 補正なし 00 補正なし 05 補正無(前払金保証無) 01 率計上しない 00 なし(補正対象外) 00 補正しない 00 補正なし 03 保証なし 10%	前 世 代

工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木工事						X1000
水路工直接工事費(仮設工を除く)						Y2001000000
開渠工			式			Y2001040000
水路工			式			Y2001040100
ストパネ工法			式			Y2001040101
ストパネ工法 左岸側 8mスパン 見積 Ø 省略	16		m			V0010 施工 第0-0001号内訳表
直接工事費(仮設工)						Y2091000000
仮設工			式			Y2091010000
仮設土留・仮締切工			式			Y2091010400

工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設矢板						Y2091010401
○ 省略			式			
アルミ矢板建込・引抜工						V0020
○ 省略	31.4		m			施工 第0-0015号内訳表
排水処理工						Y2091010500
			式			
排水ポンプ(仮設)						Y2091010502
			式			
排水ポンプ設置・撤去 φ100mm 1台 バックホウ(クレーン機能付)排対1次 山0.8m3 2.9t吊						S0453
○ 省略	1		箇所			施工 第0-0019号内訳表
排水ポンプ設置・撤去 φ50mm 1台						S0453
○ 省略	1		箇所			施工 第0-0020号内訳表
排水ポンプ運転 6~30(m3/h)未満 100×1 発動発電機 常時排水						S0452
○ 省略	1		箇所			施工 第0-0021号内訳表
排水ポンプ運転 0~6(m3/h)未満 50×1 発動発電機 作業時排水						S0452
○ 省略	1		箇所			施工 第0-0022号内訳表
直接工事費						

工事費内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費 (率分)						
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費 (率分)						
現場管理費計						
間接工事費						
工事原価						
一般管理費等						
契約保証費						

工事費内訳表

	費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事価格計							
消費税相当額計							
工事費計							

ストパネ工法

左岸側
8mスパン 見積

V0010

施工内訳表

07年07月20日適用
施工 第0-0001号内訳表
8

頁 -0013
m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
SP床掘り 土砂 現場制約あり	1	m3			SA0103 施工 第0-0002号内訳表
SP基面整正	3	m2			SA0151 施工 第0-0003号内訳表
高压洗浄工 高压洗浄機 工事用・エンジン駆動 14.7Mpa	18.6	m2			S0806 施工 第0-0004号内訳表
SP基礎碎石 再生クラッシュラン RC-40 12.5cmを超え17.5cm以下	3.28	m2			SA0301 施工 第0-0005号内訳表
SPコンクリート 18-8-25(20) 高炉 W/C≤65% 無筋・鉄筋構造物 一般養生	0.328	m3			SA0311 施工 第0-0006号内訳表
SP型枠工 一般型枠 均しコンクリート	0.8	m2			SA0312 施工 第0-0007号内訳表
等辺山形鋼溶接工 4×50×50 L=1.4m 見積	17	本			V00101 施工 第0-0008号内訳表
ストパネ材料費 500×500×30mm I型接続金具含む 見積	12	m ²			V00102 施工 第0-0010号内訳表
ストパネ設置費 I型接続金具 見積	12	m ²			V00103 施工 第0-0011号内訳表
SPコンクリート 18-12-25(20) 普通 コンクリートポンプ車打設 無筋・鉄筋構造物 一般養生	3.36	m3			SA0311 施工 第0-0013号内訳表
SP目地版 30m2未満 ゴム発泡体目地版A種(硬度30) t=10mm	0.465	m2			SA0331 施工 第0-0014号内訳表
計	8	m			

高压洗浄工

高压洗浄機 工事用・エンジン駆動 14.7Mpa

S0806

施工内訳表

07年07月20日適用
 施工 第0-0004号内訳表
 100

頁 -0017
 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			RR0125 1
特殊作業員		人			RR0101 1
普通作業員		人			RR0102 1
高压洗浄機[工事用・ガソリンエンジン駆動] 吐出量35~70L/min圧力14.7MPa		日			MMJ2071003
ガソリン レギュラー	22.70	1			TZJ6704001
諸雑費		%			#01
計	100	m2			
小計	1	m2			
◎高压洗浄機の機種・規格の選定	=1	高压洗浄機	工事用・エンジン駆動	14.7Mpa	
■日作業量(参考) 0.100m2/日					

SP基礎砕石

再生クラッシャーラン RC-40

SA0301

施工内訳表

積算地区単価適用日

07年07月20日適用 頁 -0018

施工 第0-0005号内訳表

12.5cmを超え17.5cm以下

機械構成比: 5.27% 労務構成比: 73.08% 材料構成比: 21.65% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 1,278.1

代表機労材規格		構成比	単価(新発田①)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	地区単価コード 東京単価コード
K1t'	バックホウ(クローラ型・超低騒音型) 山積0.8m3(平積0.6m3)[排対型(2014年規制)] 長期割引無	5.24%	円/日	バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.8m3(平積0.6m3)		TNR08015 TL091010007
R1t'	普通作業員	35.03%	円/人	普通作業員		RR0102 RR9102
R2t'	特殊作業員	14.83%	円/人	特殊作業員		RR0101 RR9101
R3t'	運転手(特殊)	13.97%	円/人	運転手(特殊)		RR0114 RR9114
R4t'	土木一般世話役	8.75%	円/人	土木一般世話役		RR0125 RR9125
Z1t'	再生クラッシャーラン RC-40	16.89%	円/m3	再生クラッシャーラン RC-40		TZJ2122003 TZ092122003
Z2t'	軽油	4.73%	円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
積算単価				積算単価		EP001
◎砕石の厚さ		=3	12.5cmを超え17.5cm以下			
◎砕石の種類		=3	再生クラッシャーラン RC-40			
◎バックホウ賃料の補正区分		=1	長期割引なし(補正開始日まで)			
◎費用の内訳		=1	全ての費用			
■日作業量(参考) 155.000m2/日						
【補正式】 P' = P						

施工内訳表

積算地区単価適用日 07年07月20日適用 頁 -0020
 施工 第0-0006号内訳表

18-8-25(20) 高炉 W/C≤65%
 無筋・鉄筋構造物 一般養生
 機械構成比: 0.00%

SA0311

労務構成比: 29.40% 材料構成比: 70.60% 市場単価構成比: 0.00%

1 m3 当り
 標準単価: 28,051

代表機労材規格	構成比	単価(新発田①)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	地区単価コード 東京単価コード
R1t' 普通作業員	13.20%	円/人	普通作業員		RR0102 RR9102
R2t' 特殊作業員	7.51%	円/人	特殊作業員		RR0101 RR9101
R3t' 土木一般世話役	6.69%	円/人	土木一般世話役		RR0125 RR9125
Z1t' 生コンクリート 18-8-25(20) 高炉 W/C≤65%	70.60%	円/m3	生コンクリート 24-12-25(20) 高炉		T1631 TZ092012005
積算単価			積算単価		EP001
◎構造物種別	=1	無筋・鉄筋構造物			
◎打設工法	=4	人力打設			
◎コンクリート規格	=1	18-8-25(20) 高炉 W/C≤65%			
◎養生工の種類	=2	一般養生			
○現場内小運搬の有無	=2	無し			
◎費用の内訳	=1	全ての費用			
■日作業量(参考) 4.000m3/日					
【補正式】 P' = P					
[労務補正]	$\times \left\{ \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t} + \frac{R3r}{100} \times \frac{R3t'}{R3t} \right] \times \frac{Rr}{R1r + R2r + R3r} \right\}$				
[材料補正]	$+ \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r}$				
[全体調整]	$+ \frac{100 - Rr - Zr}{100}$				

SP型枠工

一般型枠
均しコンクリート

SA0312

施工内訳表

積算地区単価適用日 07年07月20日適用 頁 -0021
施工 第0-0007号内訳表

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m2 当り 4,714.1

代表機労材規格	構成比	単価(新発田①)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	地区単価コード 東京単価コード
R1t' 型わく工	58.35%	円/人	型わく工		RR0133 RR9133
R2t' 普通作業員	20.27%	円/人	普通作業員		RR0102 RR9102
R3t' 土木一般世話役	6.13%	円/人	土木一般世話役		RR0125 RR9125
積算単価			積算単価		EP001
◎型枠の種類	=1	一般型枠			
◎構造物の種類	=4	均しコンクリート			
◎費用の内訳	=1	全ての費用			
■日作業量(参考) 設定なし					
【補正式】 P' = P					
[労務補正]					
$\times \left\{ \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t} + \frac{R3r}{100} \times \frac{R3t'}{R3t} \right] \times \frac{Rr}{R1r + R2r + R3r} \right.$					
[全体調整]					
$\left. + \frac{100 - Rr}{100} \right\}$					

ストパネ設置費

I型接続金具
見積

V00103

施工内訳表

07年07月20日適用
施工 第0-0011号内訳表
10

頁 -0025
m² 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			RR0125 1
特殊作業員		人			RR0101 1
溶接工		人			RR0113 1
普通作業員		人			RR0102 1
トラック運転経費 トラック (クレーン付) 4~4.5 t 級(2.9 t 吊)		時間			S2015 施工 第0-0012号内訳表
雑材料		%			#01
計	10	m ²			
小計	1	m ²			

施工内訳表

積算地区単価適用日 07年07月20日適用 頁 -0027
 施工 第0-0013号内訳表

18-12-25 (20) 普通 コンクリートポンプ車打設 SA0311

無筋・鉄筋構造物 一般養生

機械構成比: 4.11% 労務構成比: 16.85% 材料構成比: 79.04% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m3 当り 25,326

代表機材規格		構成比	単価(新発田①)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	地区単価コード 東京単価コード
K1t'	コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力90~110m3/h	4.07%	円/供用日	コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m3/h		MMJ0903010 MNT0903010
R1t'	普通作業員	8.77%	円/人	普通作業員		RR0102 RR9102
R2t'	土木一般世話役	2.96%	円/人	土木一般世話役		RR0125 RR9125
R3t'	特殊作業員	2.84%	円/人	特殊作業員		RR0101 RR9101
R4t'	運転手(特殊)	1.83%	円/人	運転手(特殊)		RR0114 RR9114
Z1t'	生コンクリート 18-8-25(20) 高炉 W/C≤60%	78.22%	円/m3	生コンクリート 24-12-25(20) 高炉		TY000210000 TZ092012005
Z2t'	軽油	0.82%	円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
積算単価				積算単価		EP001
	◎構造物種別	=1	無筋・鉄筋構造物			
	◎打設工法	=1	コンクリートポンプ車打設			
	◎コンクリート規格	=7	コンクリート各種			
	○設計日打設量	=1	10m3以上100m3未満			
	◎養生工の種類	=2	一般養生			
	○圧送管延長距離区分	=1	延長無し			
	◎費用の内訳	=1	全ての費用			
■日作業量(参考) 69.000m3/日						

SP目地版

30m2未満
 ゴム発泡体目地板A種 (硬度 30) t=10mm
 機械構成比: 0.00% 労務構成比: 63.93%

SA0331

施工内訳表

積算地区単価適用日 07年07月20日適用 頁 -0029
 施工 第0-0014号内訳表
 1 2 当り
 標準単価: 3,855.3

代表機労材規格	構成比	単価(新発田①)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	地区単価コード 東京単価コード
R1t' 普通作業員	47.13%	円/人	普通作業員		RR0102 RR9102
R2t' 土木一般世話役	16.49%	円/人	土木一般世話役		RR0125 RR9125
Z1t' ゴム発泡体目地板 ゴム発泡体 t=10mm 硬度30以上	36.07%	円/m2	瀝青繊維質目地板 厚10mm		TZJ4154004 TZ094152001
積算単価			積算単価		EP001
◎工事当り使用量 ◎目地板の種類	=1 =9	30m2未満 ゴム発泡体目地板A種 (硬度 30) t=10mm			
■日作業量(参考) 9.000m2/日					
【補正式】 P' = P					
[労務補正]					
$\times \left\{ \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t} \right] \times \frac{Rr}{R1r + R2r} \right.$					
[材料補正]					
$+ \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r}$					
[全体調整]					
$+ \frac{100 - Rr - Zr}{100}$					

数量計算書

工事名: 伊勢堀川排水路護岸補修工事

工事区分・工種	算出根拠・計算式	算出数量	設計数量	備考
排水路工				
ストパネ工法 2スパン=8m	[1スパン]工事測点 No.3+11.2~No.3+19.2 = 8.0 m [2スパン]工事測点 No.3+19.2~No.4+7.2 = 8.0 m <div style="text-align: right;">合計 16.0 m</div>	16.00 m	16.00 m	
仮設工				
アルミ矢板土留 建込・撤去 (片側分)	延長方向 護岸改修延長 16.00 m No.3+6.2~No.3-11.2m(作業ヤード) 5.00 m No.4+11.2m~No.4+16.2m(作業ヤード) 5.00 m <div style="text-align: right;">延長方向合計 = 26.00 m</div> 横断方向 上流側 2.7 m+ 下流側 2.7 m= 5.4 m <div style="text-align: right;">合計 31.40 m</div> 矢板設置延長 枚当り延長 使用枚数 31.40 m / 0.333 m/枚 = 94.3 枚 (片側のみ)	31.40 m	31.40 m	
水替工				
排水ポンプ据付・撤去	据付・撤去 φ100mm 1.0 箇所 φ50mm 1.0 箇所	1.00 箇所 1.00 箇所	1.00 箇所 1.00 箇所	
排水ポンプ据付・撤去	排水ポンプ運転 φ100mm常時排水 1 箇所 φ50mm作業時排水 1 箇所 (運転日数 7 日)	1.00 箇所 1.00 箇所	1.00 箇所 1.00 箇所	

水替工日数算定表

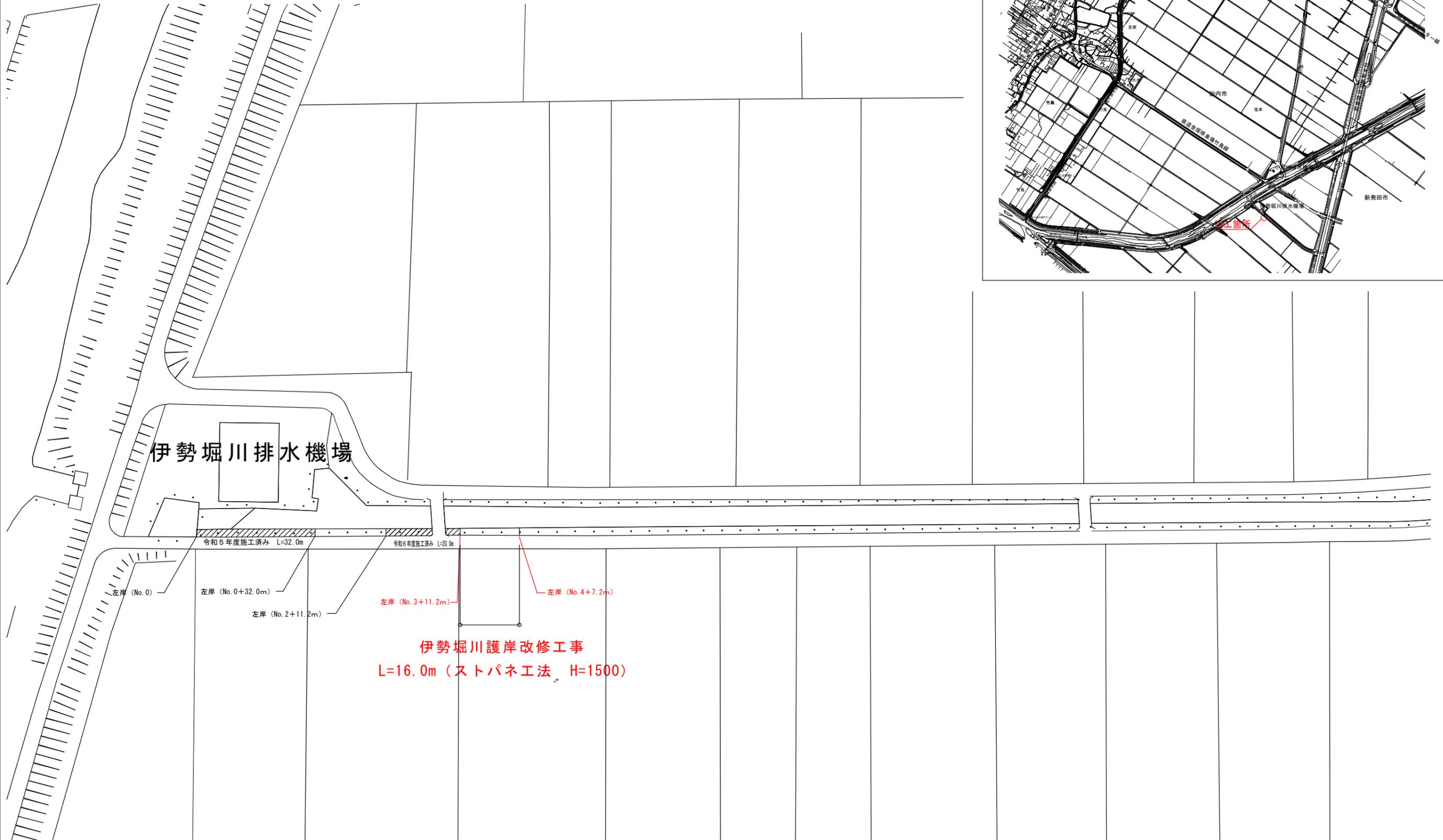
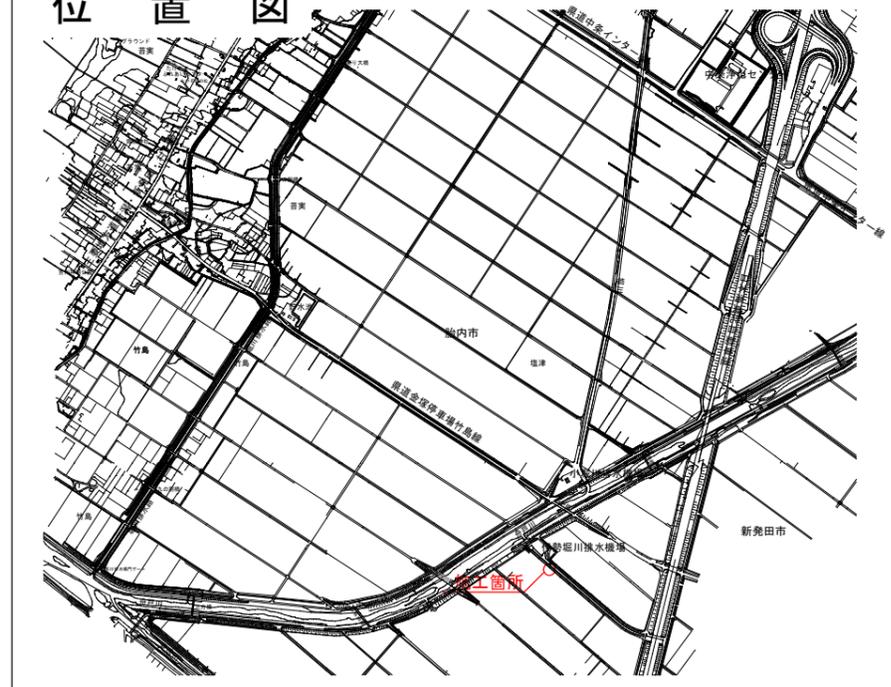
伊勢堀川排水路護岸補修工事

8mスパン

工種		スパン当り数量	日当り施工量	施工日数	スパン数	水替工日数
床掘	人力掘削・現場制限あり	1 m3	2.4 m3/日	0.42 日	2 スパン	0.84 日
基面整正		3 m2	50 m2/日	0.06 日	2 スパン	0.12 日
高圧洗浄工		18.6 m2	141 m2/日	0.14 日	2 スパン	0.28 日
基礎砕石工		3.28 m2	155 m2/日	0.03 日	2 スパン	0.06 日
コンクリート工	均しコンクリート	0.328 m3	4 m3/日	0.09 日	2 スパン	0.18 日
型枠		0.8 m2	38 m2/日	0.03 日	2 スパン	0.06 日
コンクリート工	中詰コンクリート	3.36 m3	69 m3/日	0.05 日	2 スパン	0.10 日
目地板		0.465 m2	14 m2/日	0.04 日	2 スパン	0.08 日
ストパネ設置		12 m2	2.45 日/スパン	2.45 日	2 スパン	4.90 日
合計						6.62 日
設計計上日数					≒	7 日

令和7年度 伊勢堀川排水路護岸改修工事 s=1/1000

位置図

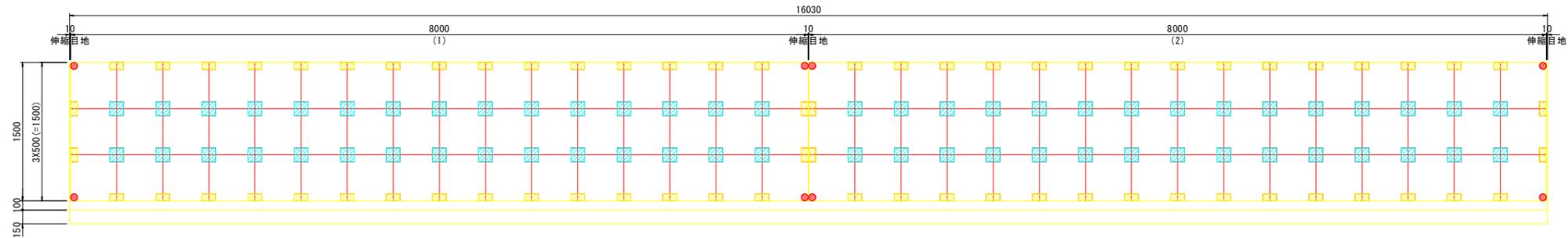


伊勢堀川護岸改修工事
L=16.0m (ストパネ工法 H=1500)

		米 尺		工 尺		工事名称	令和7年度 伊勢堀川排水路護岸改修工事	No.
		設計年月日		縮 尺		図面名称	計画平面図	

伊勢堀川排水路 補修計画図

プレキャストパネル展開図 S=1:30



- 凡例
- : 4点止め
 - : 2点止め
 - ▶ : 切断1点止め
 - : 1点止め

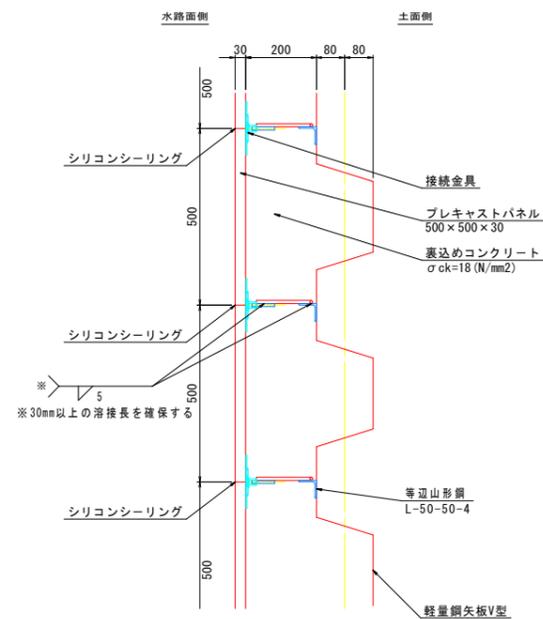
プレキャストパネル数量表

名称	規格・寸法	単位	(1)	(2)	数量	備考
プレキャストパネル	500×500×30	枚	48	48	96	
接続金具	4点止め	個	30	30	60	
	2点止め	個	34	34	68	
	切断1点止め	個	-	-	-	
	1点止め	個	4	4	8	
寸切ボルト		本	68	68	136	

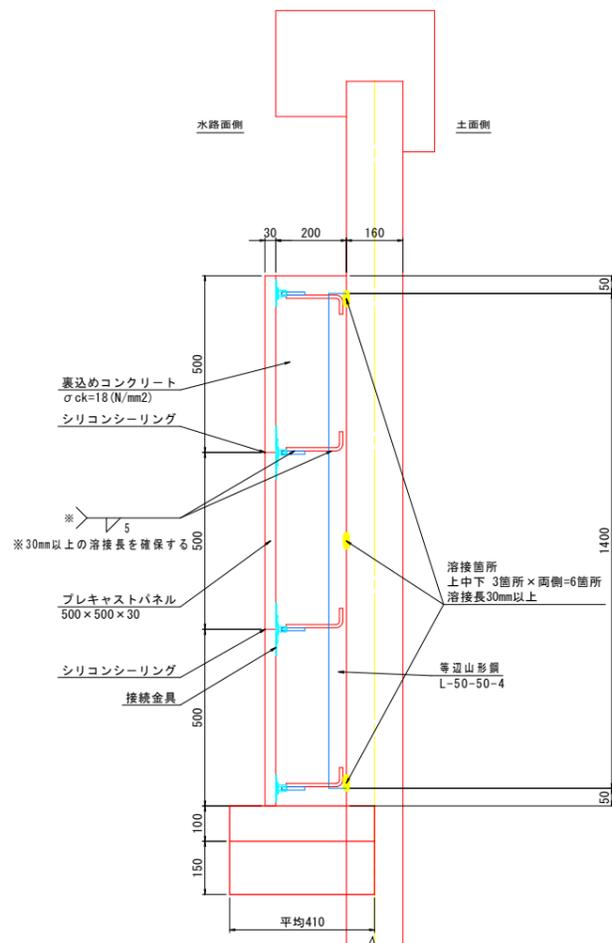
留意事項

- ① 高圧洗浄機(洗浄時水圧14.7Mpa以上)により鋼矢板表面を洗浄し、溶接箇所はケレン作業を併用する。
- ② 接続金具の溶接は、30mm以上の溶接長を確保する。
- ③ パネルの継目部はシリコンシーリングを塗布する。
- ④ 笠コンクリートの継目部に合わせて伸縮目地(10mm)の位置及び個所数を調整する。
- ⑤ 等辺山形鋼の溶接は、30mm以上の溶接長で高さ方向に6ヶ所以上確保する。

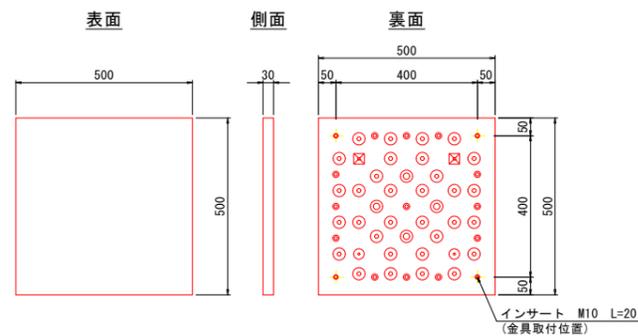
平面図 S=1:10



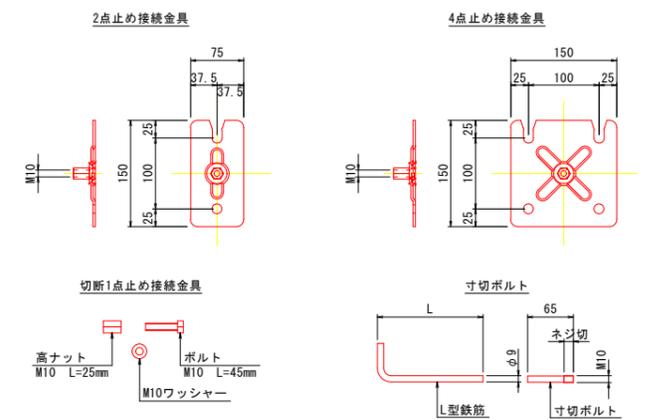
側面図 S=1:10



プレキャストパネル詳細図 S=1:10



接続金具詳細図 S=1:5



特記仕様書

- 施工条件総括表
- 建設副産物に関する特記仕様書
- 工事实績情報システムに関する特記仕様書
- 現場代理人の常駐義務緩和に関する特記仕様書

施工条件総括表

下記項目、事項のうち○印欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。
 なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、甲（胎内市）と協議し、適切な措置を講ずるものとする。

明示項目	施 工 条 件
I 工 程 関 係	1. 関連する別途発注工事あり ・工 事 名： ・予定期間： 2. 施工時期、時間、方法の制限あり ・時 期： ・時 間： ・方 法： 3. 関係機関協議による工程条件あり ・協 議 内 容： ・完了予定時期： 4. その他
II 用 地 関 係	1. 工事用地等の未処理部分あり ・処理見込時期： ・区 間： 2. 仮設ヤードの指定あり ・場 所： ・期 間： 3. その他
III 公 害 対 策 関 係	1. 公害防止の制限あり（騒音・振動、排出ガス、粉じん、水質等） ・施工方法： ・作業時間：

明示項目	施工条件
Ⅲ公害対策 関係	2. 家屋等の調査の必要性あり ・方法： ・範囲：
	3. その他
Ⅳ安全対策 関係	1. 交通安全施設等の指定あり ・交通誘導員： 人/日（必要日数 日）、 人/日（必要日数 日）※ 人/日は休憩休息時間誘導。 警察等関係機関との協議より、交通処理方法等の変更が生じた場合や現地により、これによりがたい場合は、監督員と協議すること。（配置数の変更については別途協議） ・その他施設等：
	2. 近接作業制限あり（鉄道、ガス、水道、電気、電話等） ・内容： ・工法制限： ・作業時間制限：
	3. 発破作業あり ・保安設備及び保安要員： ・防護工： ・作業時間制限：
	4. 防護施設（落石、雪崩、土砂崩落等） ・内容：
	5. その他
Ⅴ工事用道路 関係	1. 一般道路を搬入路としての使用制限あり ・搬入経路： ・期間： ・使用後の処置：
	2. 一般道路の占用 ・期間： ・規制条件： ・時間制限：
明示項目	施工条件

V 工事用道路 関 係	3. 仮設道路設置 ・工法指定の有無： ・用 地 関 係： ・安 全 施 設： ・工事完了後の「存置」または「撤去」：
	4. その他
VI 仮設備関係	1. 仮設備の指定あり
	2. 仮設備の条件指定あり
	3. 仮設構造物の転用，兼用あり ・工 種： ・内 容：
	4. イメージアップあり ・内 容：
	5. その他
VII 残土・産業 廃棄物関係	別紙「建設副産物に関する特記仕様書」のとおり
明示項目	施 工 条 件

Ⅷ工事支障 物件等	1. 占用支障物件あり（電気、電話、水道、ガス等） ・内 容： ・移設、撤去、防護方法等： ・時 期： 2. 占用物件重複施工あり ・内 容： 3. その他
Ⅸ排水工 （濁水処理 含む）	1. 濁水、湧水処理等の特別な対策あり ・内 容：
X薬液注入 関 係	1. 薬液注入工法あり ・別紙条件明示による
XIそ の 他	1. 現場発生材あり ・品 名： ・納入場所： 2. 支給品及び貸与品あり ・品 名： ・引渡場所： 3. 品質証明の必要あり 4. その他 ・この工事の施工及び管理は、新潟県農地部の定める「農業土木工事施工管理基準」に準ずるものとする。
明示項目	施 工 条 件
XII排出ガス	① 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3年10月8日

**対策型
建設機械**

付建設省経機発第249号)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着(黒煙浄化装置付)することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。

機 種	備 考
一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタショベル(車輪式) ・ブルドーザ ・発動発電機(可搬式) ・空気圧縮機(可搬式) ・油圧ユニット <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの 油圧ハンマ、バイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機 油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機 リバースサーキュレーションドリル、アースドリル 地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機 </div> ・ロードローラ、タイヤローラ・振動ローラ ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン(エンジン出力7.5kw以上260kw以下)を搭載した建設機械に限る。

2. 排出ガス対策型建設機械(第2次基準)を標準としている施工においては、これを積極的に使用し普及促進に努めること。

XII 施工方法等

・施工条件総括表、図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書に特別に定める場合を除き、仮設、施工方法その他工事目的物を完成するために必要な手段は、受注者の責任において定める。(建設工事請負基準約款1条第3項による)

建設副産物に関する特記仕様書

1. 再生資材の利用

下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再生資材名	規格	使用箇所	備考
再生クラッシャーラン	40~0	基礎	

2. 建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考

3. 建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土処理は、下記により積算している。

搬出先			
搬出先地名			
連絡先			
設計運搬距離			
受入時間			
設計受入費用			
仮置場所の有無			
備考			

建設発生土改良土プラントへ土砂を運搬処理する場合、上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。

なお、発注者が想定している施設と受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。

ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものではない事項についてはこの限りではない。

注) 受入先が建設発生土改良プラントの場合、搬出先欄には「プラント」と記載し、搬出先地名、連絡先の欄は記入しない。

4. 建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記により積算している。

搬出する廃棄物名			
設計運搬距離			
受入時間			
設計受入費用			
備考			

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、発注者が想定している施設と受注者の提示する施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

5. 建設リサイクル法の対象工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、法第 18 条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

6. 自ら産業廃棄物を運搬搬出する以外は委託契約書の写しを提出すること。

7. 協議について

建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事業により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに発注者に報告し、協議すること。

工事实績情報システムに関する特記仕様書

請負者は、工事請負代金額が 500 万円以上の工事について、工事实績情報サービス(コリンズ)に基づき、工事实績情報を作成し監督員の確認を受けたうえ、登録機関に登録申請をしなければならない。

工事实績情報登録の期限および内容は、以下のとおりとする。

- ① 登録対象は、工事請負代金額 500 万円以上の全ての工事とし、受注・変更・完成・訂正時にそれぞれ登録するものとする。
- ② 受注・変更・完成・訂正時に「登録のための確認のお願い」を作成し監督員の確認を受けたうえ、登録申請をしなければならない。
- ③ 受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に登録申請をしなければならない。
- ④ 変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に登録申請をしなければならない。
- ⑤ 完成時は工事完成後、土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に登録申請をしなければならない。
- ⑥ 訂正時は適宜、登録申請をしなければならない。
- ⑦ 変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。

なお、変更時と工事完成時の間が 10 日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できる。

現場代理人の常駐義務緩和に関する特記仕様書

建設工事(建設業法(昭和24年法律第100号)第2条第1項に定める建設工事をいう。)の施工において適用する胎内市財務規則(平成17年規則第48号)別記1建設工事請負基準約款第10条第3項に基づく「現場代理人の常駐義務」の緩和に関する取扱いについて、必要な事項を定めるものとする。

1. 常駐を要しない期間

実質的に現場が稼働していない以下に掲げる期間においては、現場代理人は、現場への常駐を要しないものとする。
なお、常駐を要しない具体的な期間については、監督員と現場代理人が協議の上、工事打合簿において定めるものとする。

- (1) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
- (2) 工事の全部の施工を一時中止している期間
- (3) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
- (4) 現場が完了し竣工検査までの間など、工事現場において作業が行われていない期間

2. 兼務を認める対象工事

以下に掲げる要件をすべて満たす工事を合計で5件まで兼務することができる。

- (1) 本市が発注した工事であること
- (2) 主任技術者を兼務しない場合及び当初請負金額が一件3500万円未満であること
- (3) 兼務しようとする工事の当初請負金額の合計が7000万円未満であること
- (4) 常に工事現場間の連絡が取れる体制にあること

3. 兼務の承認

現場代理人兼務の承認にあたっては、工事現場内の管理等の現場代理人として職務の遂行に支障がないと判断されたときに承認するものであり、以下の(1)から(3)により承認までの事務を行う。

- (1) 現場代理人の兼務を希望する事業者は「現場代理人兼務承認申請書」(様式第1号)を新たに現場代理人の配置(兼務)をさせようとする工事の契約

書提出時に財政課に提出する。

- (2) 市は、現場代理人兼務承認申請書に基づき、上記「3 兼務を認める対象工事」の要件をすべて満たしていることを確認する。なお、発注者が安全管理上等の理由により、兼務を認めることが適当でないと判断した場合は、兼務を認めないものとする。
- (3) 市は、兼務の可否を「現場代理人兼務承認（不承認）通知書」（様式第2号）により事業者に通知する。この通知は、申請書を受理した日の翌日から起算して7日以内に行うものとする。

4. 常駐義務緩和中の注意事項

以下に掲げる事項を遵守すること。なお、不備が認められたときは、現場代理人兼務の承認を取り消す場合がある。

- (1) 発注者との連絡体制が確保されていること
- (2) 兼務期間中は、兼務を承認したいずれかの工事現場に常駐していること
- (3) 現場代理人が他の工事現場にて職務に従事している間、不在となる工事現場においては、連絡体制の整備を確実に行うとともに、各現場の施工管理・安全管理等について、万全を期すこと
- (4) 本要領を適用する工事においても、約款第10条第4項の規定により、現場代理人と主任技術者等を兼ねることは可能である。ただし、主任技術者等は建設業法の規定により「専任義務」が課せられる場合があるので、現場代理人が主任技術者等を兼ねる場合は、建設業法違反とならないよう注意すること。

5. その他

- (1) 増額の変更契約に伴う取扱い

増額の変更契約により請負金額が3500万円以上となった場合、また兼務している工事の合計が7000万円以上になった場合でも、そのことを理由とした兼務の取消しは行わない。

「熱中症対策に資する現場管理費の補正」特記仕様書

本工事は、「熱中症対策に資する現場管理費の補正」の試行対象案件である。
受注者は、受注後速やかに「熱中症対策に資する現場管理費の補正」の試行希望の有無について打合せ簿により監督員と協議を行うものとする。

協議により試行する場合は「熱中症対策に資する現場管理費の補正」試行実施要領に基づき行うものとする。